大学教育における「海外体験学習」研究会（JOELN）2011年度研究大会にて本学学生が発表しました。

2011.10.03

10月1日に本学附属図書館1階視聴覚室にて「大学教育における『海外体験学習』研究会（JOELN）2011年度研究大会」が開催されました。
開催校を代表して梶山学長が開会の挨拶をし、本学海外体験学習プログラム（平成22年度実施のオーストラリア・Exploring "Sustainable Living"プログラム、平成23年度実施のスリランカ・Exploring "Development"プログラム）に参加した文学部英文学科3年の宮川果鈴さん、山口舞子さんが「学生が語る、『海外体験学習』とその後」をテーマに、プログラム参加前から参加後の変化、プログラムを通して学んだことやそれを大学生活に生かしていること等について発表しました。
また本大会では、本学の国内外の体験学習プログラムに参加している学生19名（1年次生12名、2年次生2名、3年次生4名）で学生実行委員会を組織し、事前準備及び受付、撮影、会場誘導等、当日の運営を行いました。。

学生実行委員・発表学生の声